

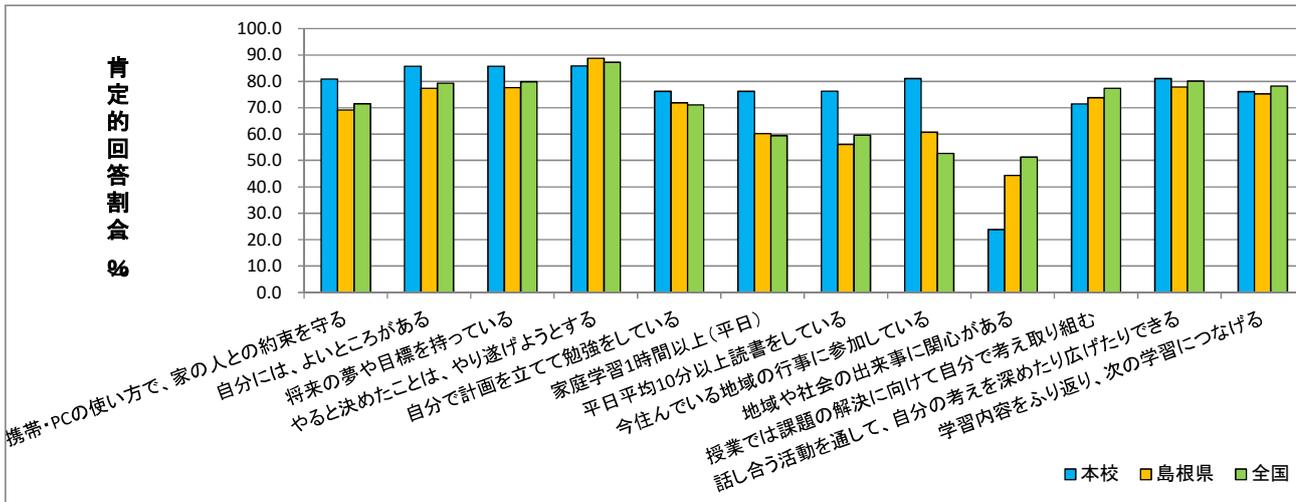
(1)学力調査結果から見られた傾向

|    | 成果と課題(○:成果, ●:課題)  | 対策(・)  |
|----|--|--|
| 国語 | ○記述式の問題でしっかりと書くことができている。<br>●読みとった内容から深く考える問題や友だちの読みと自分の読みを関連づけて記述する問題の正答率が低い。                                   | ・一人ひとりが自分の考えをもち、対話や交流を通して考えを深める授業を行う。<br>・朝読書などの時間を活用し、多様なジャンルの本に触れられる機会を多く設け、読書活動を推進していく。   |
| 算数 | ○具体的な場面などイメージがわかりやすい問題には進んで取り組むことができる。<br>●具体的な場面がイメージしにくい問題には粘り強く取り組むことが苦手である。<br>●複数の種類の情報から読みとって解答する問題が苦手である。 | ・自分の考えをもち、それを友だちと共有できるような話し合い活動を授業の中に取り入れる。<br>・朝学習や補充学習において思考力を高めるような問題に取り組ませる。   |
| 理科 | ○「地球」を柱とする領域の正答率が高い。<br>●正答数の分布から、学力差が大きいことを見てとることができる。<br>●実験の結果から考えられることを記述する問題の正答率が低く、無回答の児童も多い。              | ・予想したことと実際の結果を比較、検討したり、実験の結果から考えられることを話し合ったりする授業を行う。<br>・低学年から自然体験をし、児童の感動や疑問を大切にしていく。<br>・学習内容を身の回りの事象や生活に関連付けながら考えたり、自身の生活に立ち返ったりする機会を設ける。 |

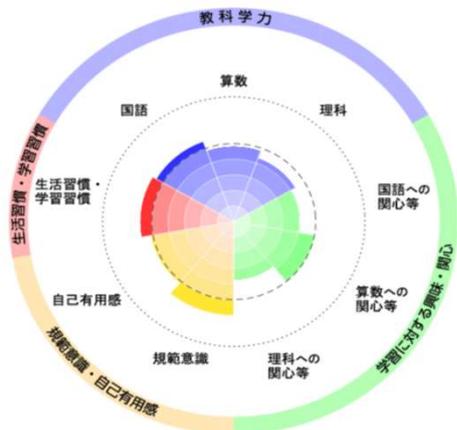
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

|     | 成果と課題(○:成果, ●:課題)   | 対策(・)  |
|-----|---|--|
| 質問紙 | ○地域の行事に進んで参加し、関わりをもっている児童が多い。<br>●様々な場面で、自分の考えを表したり自分の意志で行動したりするのが苦手。<br>●身の回りや社会で起こっている出来事に対して関心が低い。 | ・学校行事などを通して自分たちで考えて行動する経験を積ませる。<br>・朝礼などで子どもたちが新聞記事を紹介し合うなど、社会の出来事について話し合う場を設ける。 |

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・自分の思いや考えを持ち、自己を振り返ることのできる「めあて」と「振り返り」を設定することで、自分のなりたい姿を想起して学習活動に取り組めるようにする。  
・友だちの考えと自分の考えを共有する(表出する)場を設定することで、なかまとともに思いや願いをもって協働できるようにする。

【受検者数】  
21 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。